

(仮称) 参加と協働のまちづくり条例 前文案 (岡田修正案) 081212

夏、広がる緑の田畑にあふれる光と水のささやき、躍動する無数のいのちたち。

秋、黄金波打つ稲穂に映える夕日、恵みが実を結ぶ豊穰のとき。

冬、厳寒の中で静まる大地、高まるいのちの力。

そして春、れんげ草に立ち昇る陽炎、ぬるむ水際、咲き競う五条桜。

いにしえより人々は、代々受け継いだ土地を愛し、汗を流し、確かでゆるぎない日々の暮らしを重ねるなかで、培ってきた知恵と経験を生かして、豊かなまち「おおぐち」を築いてきました。

そして迎えた変革の時。

戦後 60 年を経過し、社会経済環境が急激に変化するなか、あらためて私たち一人ひとりが、地域の課題から目をそらさず、みんなの幸福のために自ら行動し、地域を創造する時代が来ていると言えます。

幸いにも、わたしたちのまち「おおぐち」は、先人達が脈々と培ってきた自立の志を引き継ぎ、自立への道を自ら切り拓いてきました。私たちはこうした気概を新しい世代に引き継ぐとともに、さらなる自立と自治を見据え、まちづくりにおける住民の参加と協働のしくみを明らかにし、みんなで共有します。

私たちは、大口町民の誇りと責任を持って、明るい希望に満ちた明日を拓くため、みんなの約束として大口町参加と協働のまちづくり条例を制定します。